

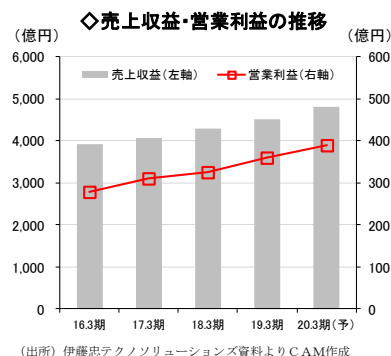
企業ニュース 伊藤忠テクノソリューションズ

(東証1部 : 4739) <http://www.ctc-g.co.jp/>

作成者: 村上大志

通信や流通業向けに強いシステムインテグレーター

コンピュータ・ネットワークシステムの販売や保守、ソフトウェア受託開発、データセンターサービスなどを手掛けるS I (システムインテグレーター) 大手の一角で、伊藤忠商事が筆頭株主。250社以上とパートナーシップを結ぶマルチベンダーで、様々な製品やサービスをつなぎ、組み合わせることで顧客に最適なITサービスを提供する。19.3期の業種別売上収益構成比は通信・放送30.2%、電気4.1%、製造業14.6%、情報サービス20.2%、公共3.0%、商業・運輸7.4%、金融・保険13.4%、その他7.1%。中期経営計画(19.3期-21.3期)では、クラウド・ITアウトソーシングビジネスとグローバル関連ビジネスに注力し、21.3期の当社株主に帰属する当期純利益300億円、ROE12%以上を目指す。



手数料型ビジネスが拡大

19.3期の連結業績は売上収益が4,520億円、前期比5%増、営業利益が359億円、同10%増。主力の通信向けにインフラ構築、保守サービスが好調、流通向けではシステム開発や運用サービスが堅調に推移した。ビジネスモデル別ではサービス、開発・S I、製品販売の全てで増収を達成。開発・S Iでは不採算額は減少し、不採算案件の発生率も改善した。受注高は4,701億円、同8%増。金融、医療機関向けが減少した一方で、通信、製造、流通向けが増加した。

20.3期の会社計画は売上収益が4,800億円、前期比6%増、営業利益が390億円、同9%増。第5世代移動通信システム(5G)や、新しいIT技術を使って企業の成長につなげようとするデジタルトランスフォーメーション(DX)案件の獲得に注力する。また、グローバル戦略ではM&Aによる東南アジアや中国、欧州での拠点拡大を目指す。5Gは初期導入段階であり、機能の改善や拡張、追加などが今後見込まれ、業績への貢献が期待される。クラウドサービスやシステム・アプリケーションの運用など、当社が注力する手数料型ビジネスが拡大している点も評価したい。政府、企業のデジタル化に向けたIT投資は今後も堅調に推移すると予想され、当社にとり良好な事業環境が続こう。

[株価動向・投資判断]

中期経営計画達成に向け順調に推移している。5G関連銘柄の1つとしても注目したい。

<4739 CTC 業績:IFRS>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
18.3	429,625 (5)	32,622 (5)	33,729 (8)	23,581 (8)	204.1	90.00
19.3	451,957 (5)	35,898 (10)	36,286 (8)	24,616 (4)	106.6	50.00
20.3 予	480,000 (6)	39,000 (9)	39,500 (9)	27,000 (10)	116.9	55.00

(注)18年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。



[主要株価指標]	(売買単位: 100株)
株価(2019/6/3)	2,655 円
年初来高値(高値日)	2,792 円(19/5/8)
同 安値(安値日)	2,022 円(19/1/4)
予想PER(20.3予)	22.7 倍
1株株主資本(PBR算出用)	955.3 円
PBR	2.78 倍
予想配当利回り	2.07 %
(1株当たり配当金55.00円)	
ROE(19.3)	11.5 %
発行済み株式数	24,000 万株